

粕屋町政刷新

2024年6月発行 第15号

粕屋町議会議員

ふくながよしゆき
福永善之

与党でも、野党でもない、完全無所属 51歳



都合が悪くなったら、病院に速攻で入院！

説明責任は放棄し、ホトボリが冷めると、コッソリと表舞台に戻ってくる！

政治家であり続けるために、自分の悪事を秘書のせいにする！

政治は、国民の為ではなく、全ては、一部の利権者と自分の為に！

そんな人たちを選び続けているのは、「あなた」です！

財源がない、と言いながら、選挙の度に投票率の高い層へカネ配り。

中間層は、税金を搾取され、負担ばかりで、恩恵なし。

その様な政治家（国も地方も）を量産させているのは、「あなた」です！

2021年4月の町議選で4期目の当選を果たした。私を選んだ町民は、私に何を期待しているのだろうか、という問いを私は常日頃持つている。議会の中で波風立てず仲良しこ

よしの私に期待しているのだろうか？ 行政側の提案に自分の考えと違っても異論を挟まない私に期待しているのだろうか？ 答えは、

全てノーだろう。議会組織に長くいると、自分の考えを主張するよりもダンマリの方が、ま

た、長いものに巻かれる方が、内輪の中では居心地が良くなるものだ。私事だが、ヨソ者・

バカ者が政治を変える、を4期目も実践している。今の腐り切った政治に風穴を開けたい！

経済は、まあまあ。政治は、

三流。では、国民は？

現代の政治は、カネを使う事ばかり。カネ

を節約するよりも使う方が高評価を得られる風潮であり、そんな政治家が量産されている。

このことは後であなたに請求書が廻ってくることを理解せねばならない。増税という請求書が。選挙前に恒例となった、投票率の高い層に向けたバラマキ政策。政治家含め、投票権を持つ有権者の意識改革が必要だ！

国民は、納税。
政治家は、脱税？

公になっただけでも80人超の国会議員が裏金に参与していたようだ。既存の税率を上げた

たり、新たに税金を作る権限を持つ国会議員だ。一般の国民が臨時収入を税務申告しな

ければ、どうなるか？ バレたら追徴課税含め、悪質だと刑務所行きも考えられる。

一方で、国会議員は？ 「記憶がない」「秘書が勝手にやった」「後で返金するつもり」でお咎めなし。こんな言い分が現代の政治家の説明責任だ。裏金議員に対し、国税局も、検

察丁も、多くを不問にした。日本社会は、悪

事を働いた者や特権階級が得をし、正直者がバカを見る、世の中になってしまった！

議員4期目の福永の賛否結果

年度	2021年	2022年	2023年	2024年 (*)
議案 [本]	85	77	108	33
賛成 [本]	80	62	95	26
反対 [本]	5	14	13	7
棄権 [本]	0	1	0	0

(*) 年度中

粕屋町の提案に反対した議案は、私の個人HPを参照してネ！

右表は、粕屋町議会での私の賛否だ。反対

した議案は、何故、反対なのか、反対の理由をホームページに公表している。私の賛成率は、

2021年度 → 94.12%
2022年度 → 80.52%
2023年度 → 87.96%
2024年度 → 78.79%

議会で反対した、主な議案

- 1 給付金事業
- 2 社会保障制度
- 3 指名競争入札制度
- 4 受益者負担の原則

1 選挙前の恒例のバラマキ。

こんな風土は、止めるべき

物価高対策という理由で一部の住民に複数回、給付金を配る議案が提案された。1回当たり最大10万円という税金が。行政は、財源が厳しいと言いながら、カネを配りまくる。そのツケは、バラマキの恩恵を受けない中間層に負担増という形でしかかる。カネを集めて、それを一部の層に簡単に配る。バラマキ位なら初めから税金を取るな、と私は思うがね。賃金は上がらず、物価は上がる。国民の可処分所得（所得から税金等を除いた、自由に使えるお金）が減少しており、バラマキ余裕があるなら、町民税を減税したり、国民全員に公平に恩恵がある消費税減税をすべき！

2 改革なしの保険料の値上げ。

社会保障制度を見直すべき

保険料を上げる議案が提案された。理由は、

財源が足りないから。財源がないから、保険料を上げる、取れる所から取る、という政策が政治家の仕事だろうか？医療費の増加は保険料の値上げで対応する。医療制度の無駄を省く努力もせず、国民に負担増を求める手法は改めるべき。特に、低所得者は保険料が減免されるのに対し、中間層は負担ばかり求められる。中間層をイジメていては、国の発展は望めない。国民に負担を求める前に、医療費削減に取り組むべき。積極的延命治療を行わない福祉国家のスウェーデン、また、各国で合法化されている安楽死・尊厳死、等、国外の事例を参考に社会保障制度を見直すべき！

3 工事の指名業者は、毎回ほぼ同じ。

違う業者にチャンスを与えるべき

地場産業の育成と謳いながら、毎回の如く、学校施設や公共施設の1億円を超える公共工事の指名競争入札は、発注者である町が同じ業者を指名し続けている。指名にありつけない多くの業者は応札のチャンスすらない。経済性・公平性・透明性の観点から、税金が原資の公共工事で納税者に疑義（指名業者同士の談合の誘発）を生じる様な指名をすべきではない！

4 耳に聞こえの良い無料サービス。

受益者が負担していくべき

財源が厳しいと言いながら、行政サービスを無料にする、という施策が選挙の度に打ち出される。受益者が全額負担しろ、とは言わないが、受益者が応分の負担をして、足りない部分に対し、サービスを受けない者が負担する、という仕組みを作るべきだ。無料は聞こえが良いが、その財源を誰かが負担しなければならぬ。その誰かは、負担能力があると見なされる中間層が主に標的になる。行政サービスが拡大すれば、あなたの税負担は今まで以上に増える。税負担の公平性が求められる！

福永の政治信条

- (一) 個人・組織・団体・企業から献金を受けない
- (二) 60歳を過ぎたら選挙に出ない（政治家の定年を一般社会と並行する）
- (三) 議会発言は、フルオープンに町民に開示していく（隠し事ナシ）

福永の選挙に対する考え方

- (一) 後援会は、作らない（名簿ナシ、電話作戦ナシ、応援の強制・強要ナシ）
- (二) 選挙カーと選挙事務所は、持たない
- (三) 基本的に完全一人選挙、また、選挙費用10万円以内（全額自己資金）
- (四) 名前の連呼しない（拡声器で音の公害を街中に投下しない）
- (五) 公費負担のある選挙ハガキを使用しない
- (六) 街中に選挙看板を一枚も使わない（自分の宣伝をしない）

福永の主な一般質問

- 1 PTAの見直し（加入は強制から任意へ、会費、繰越金、補助金）
- 2 消防団の見直し（操法大会、報酬の支給方法）
- 3 中学校の制服・校則の見直し（大人じゃなく生徒が決める）
- 4 性的少数者への配慮（中学校のトイレと更衣室、中学生の制服）
- 5 猫の糞尿対策（飼い主のいない猫）
- 6 町内会の見直し（コロナ禍の会費の減額、繰越金、行事）
- 7 町民運動会の見直し（ニーズがなければ廃止）
- 8 随意契約の見直し（半世紀以上も同じ業者と競争なしの契約）